

信濃町商工会管内景気動向
第 I 四半期(R4 年 4 月～6 月)調査報告書
調査の趣旨

企業を取り巻く経営環境の変化に対応する為、地域産業振興施策と事業者支援施策の為景気動向について調査を実施

調査方法

期間：2022 年 7 月 11 日～7 月 31 日

対象：信濃町商工会会員 311 人

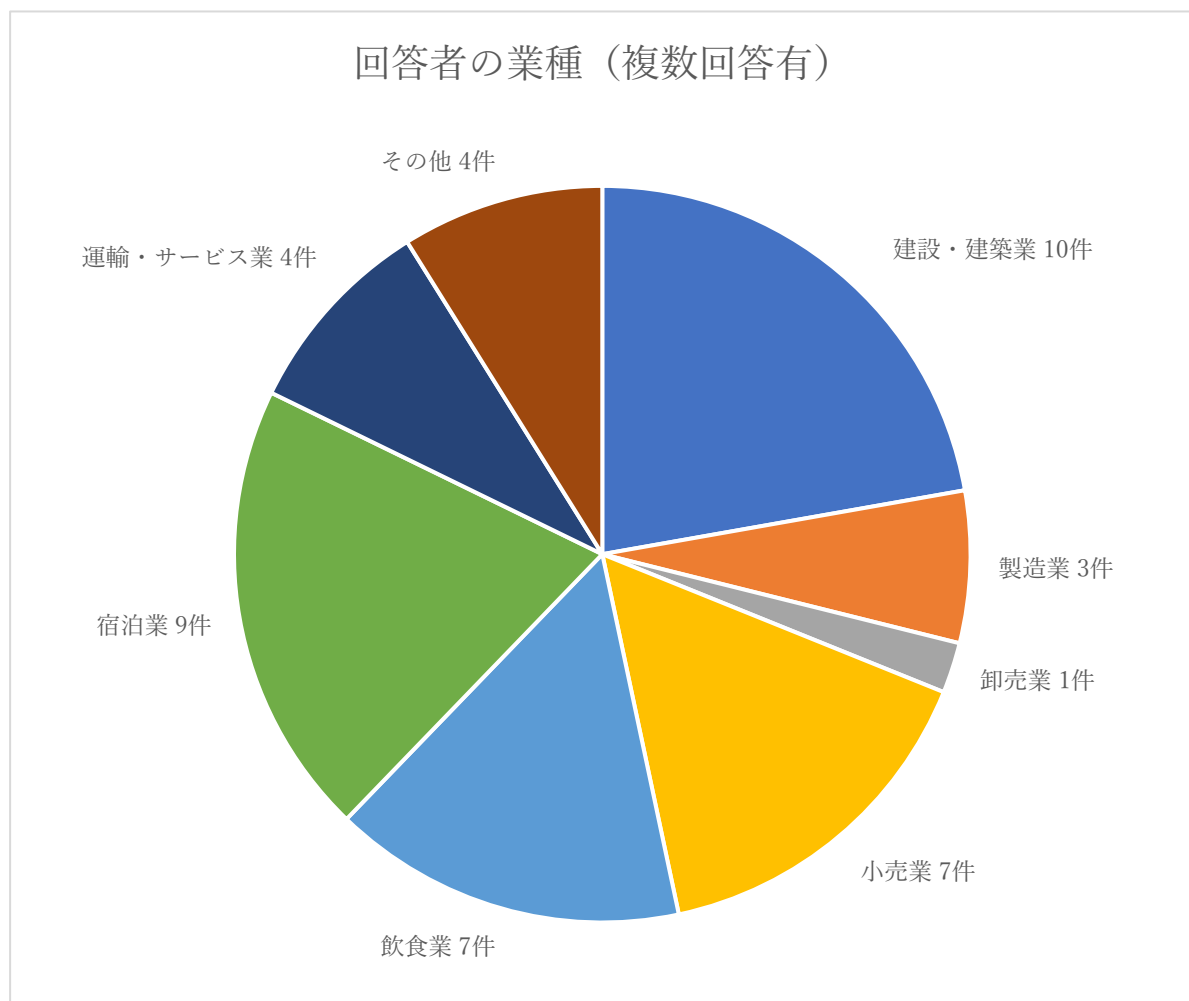
方法：アンケート用紙郵送による 手回収及び FAX による回収

調査結果概要

売上高・取引高実績については、増加または変化なしとの回答が多く占めているが、飲食・宿泊業においては、売上高・取引高が増加しているとの回答が多く見られた。一方、仕入高については増加傾向との回答が増えている。燃料費高騰の影響との回答もあり、引き続き利益の確保が困難な状況が見える結果となった。

回答者の業種

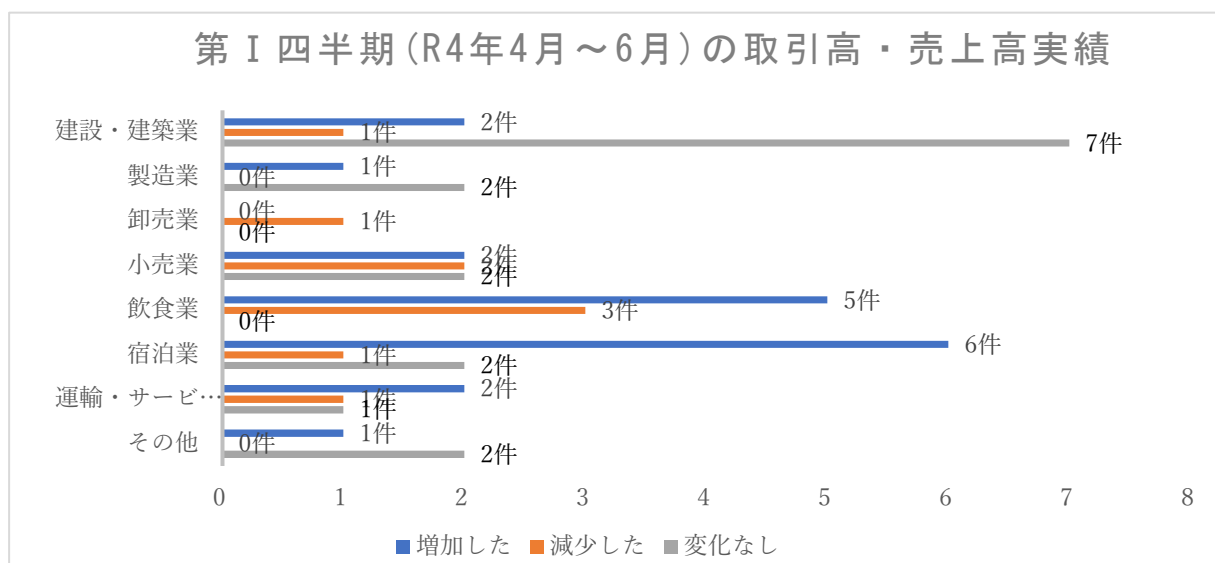
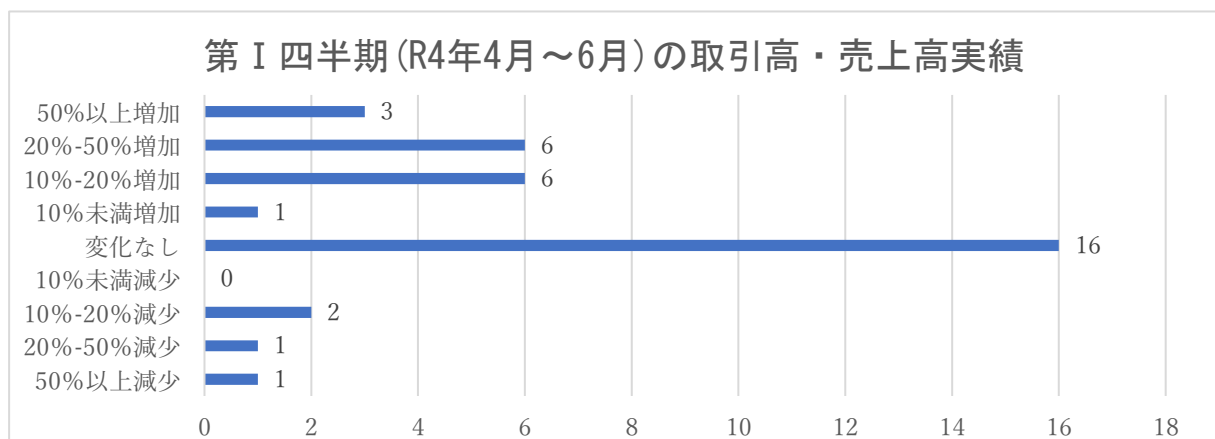
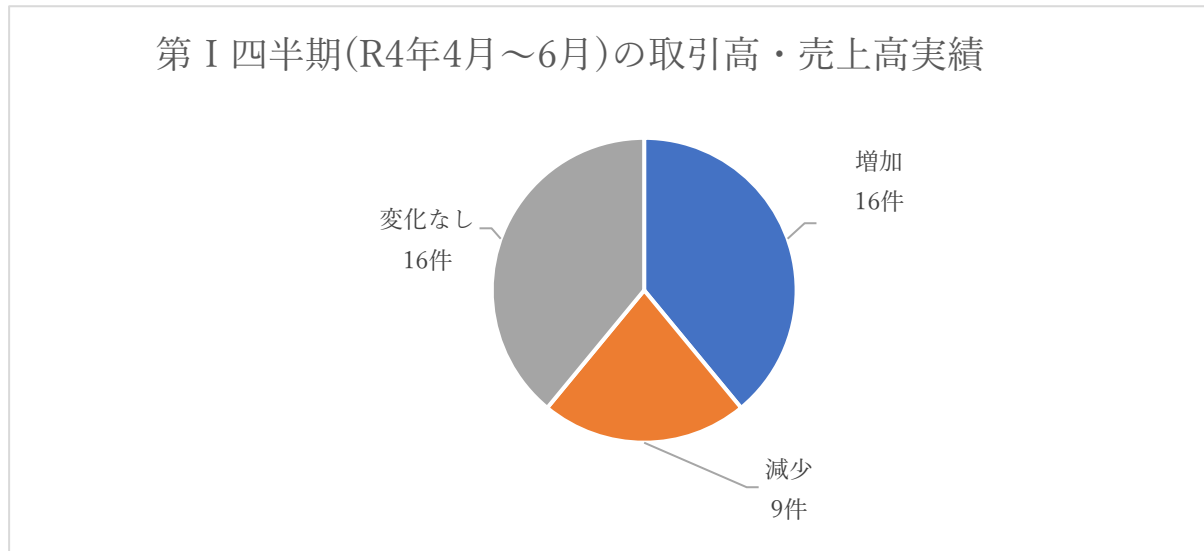
回収アンケート数 計 41 件 業種合計 計 45 件（複数回答有）



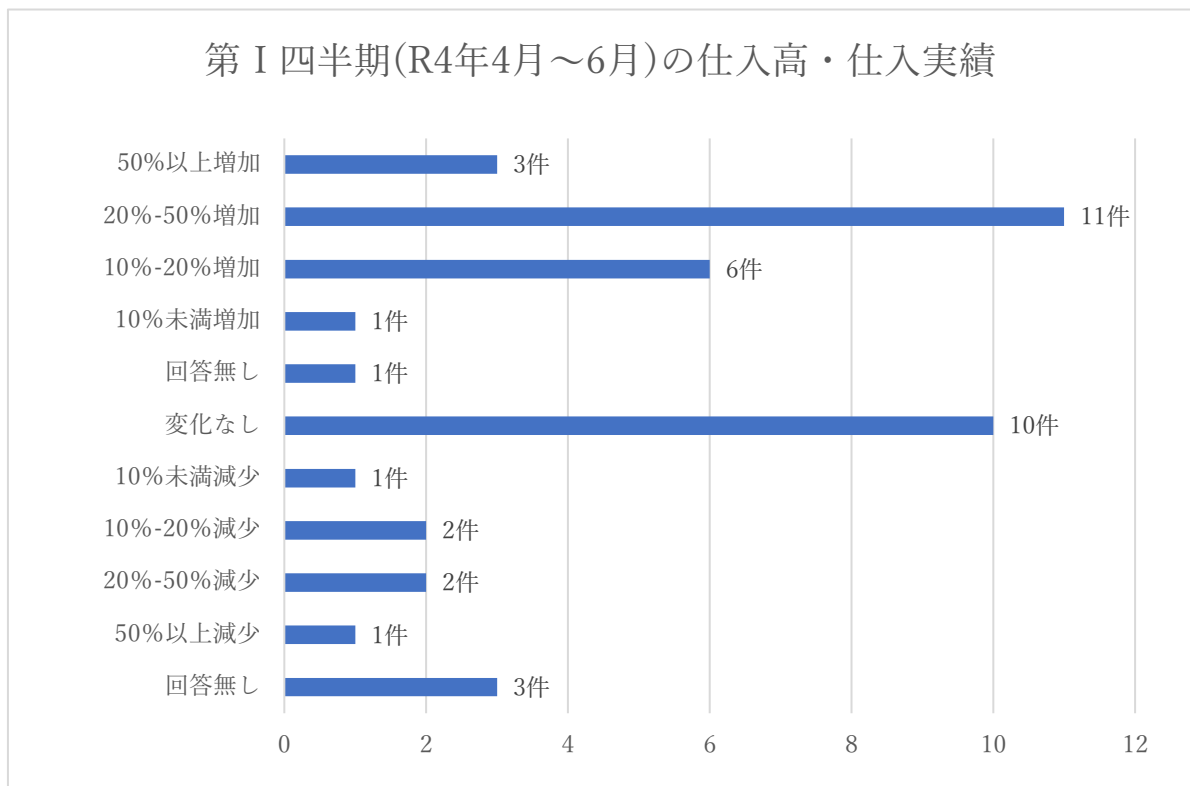
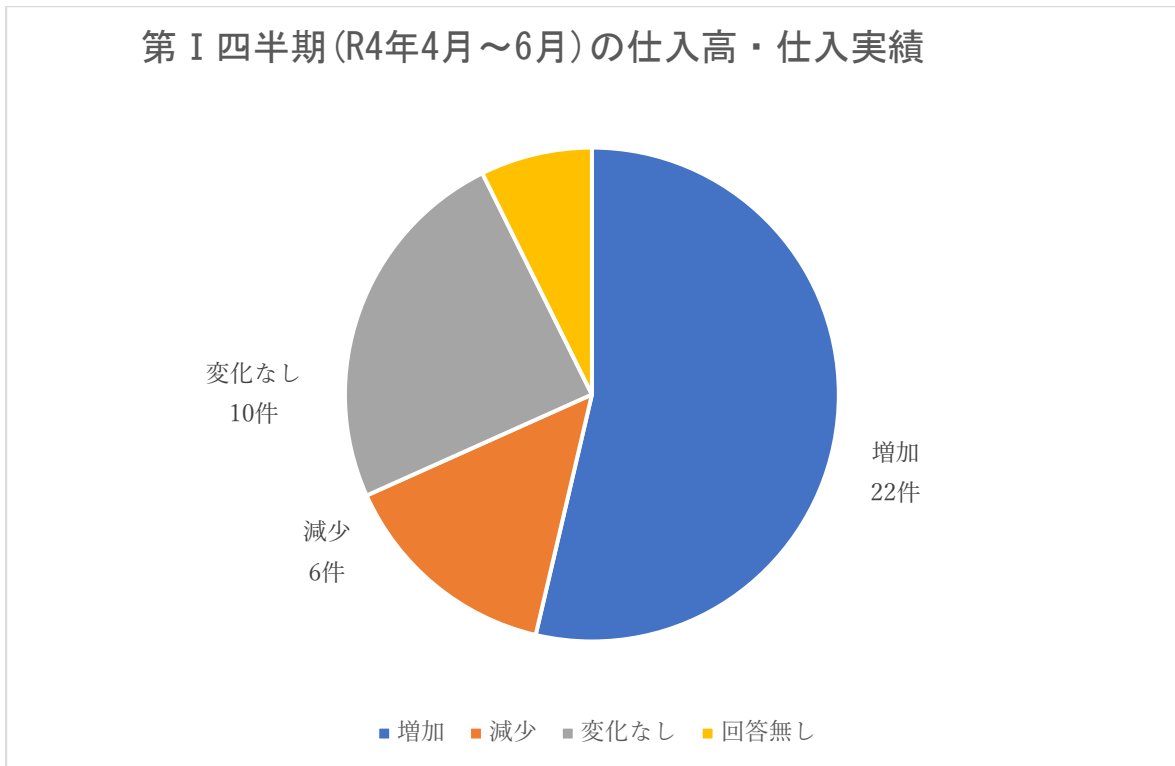
1 前年同期に比べて第 I 四半期(R4年4月～6月)の取引高・売上高実績について

第 I 四半期(R4年4月～6月)の取引高・売上高実績は、増加又は変化なしとの回答が半数以上を占めている。

業種別にみると、増加と回答した割合が多い業種は宿泊業であり、続いて飲食業・建設・建築業となっている。

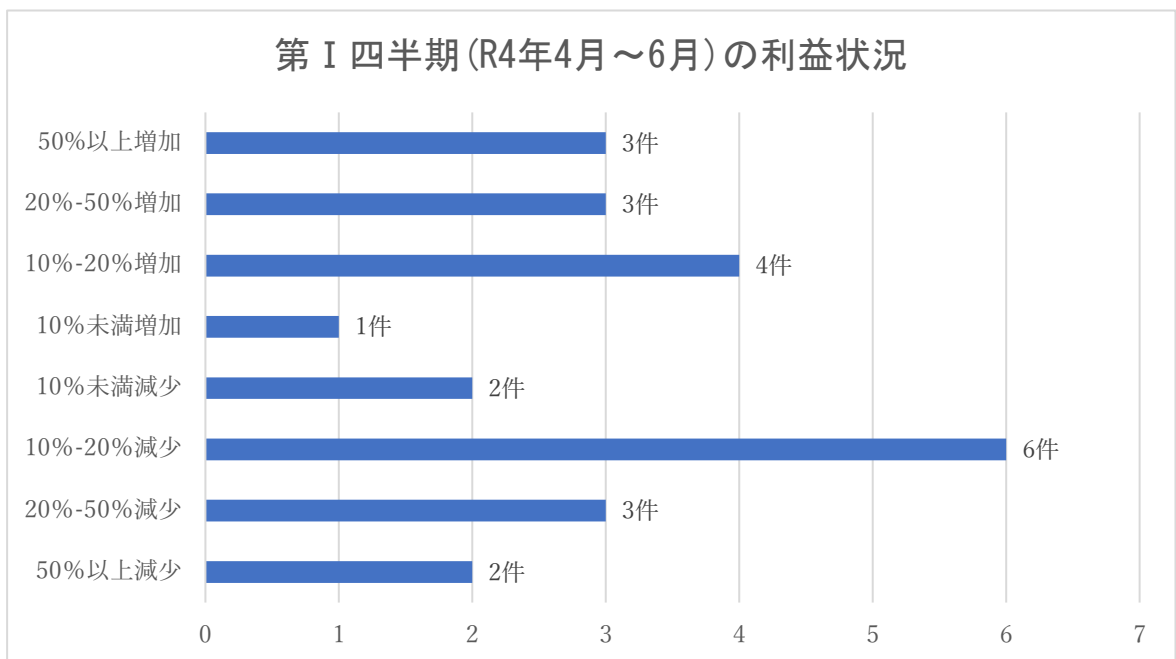
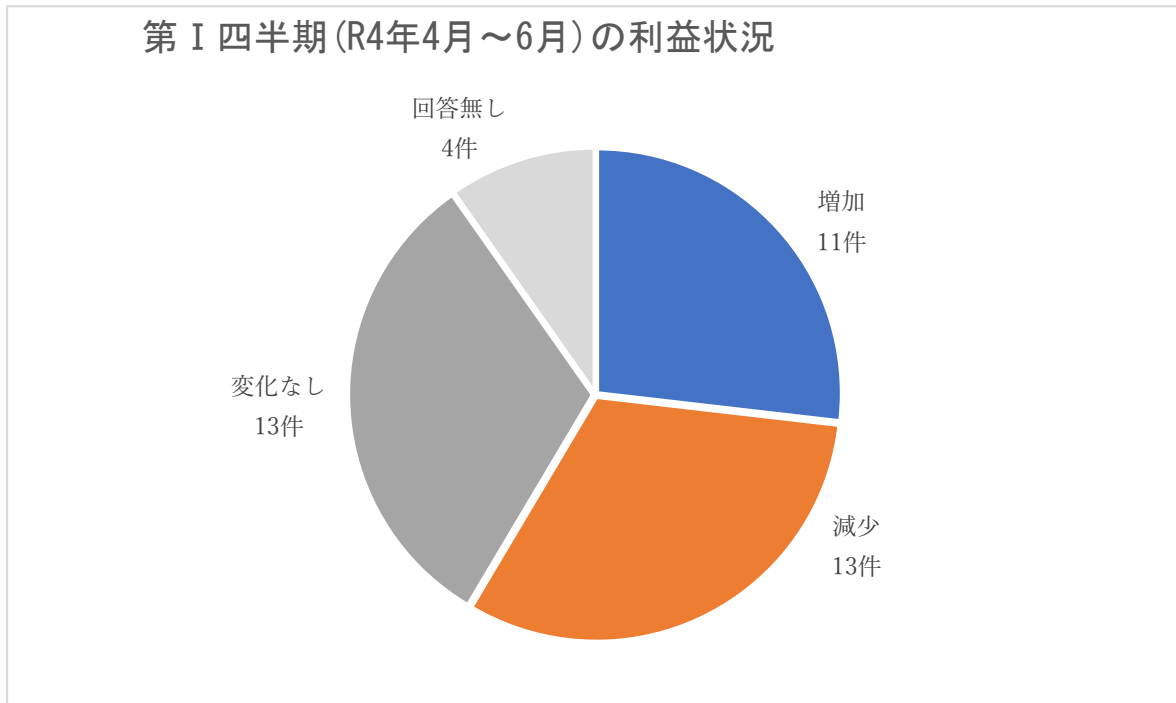


2 前年同期に比べて第 I 四半期(R4 年 4 月～6 月)の仕入高・仕入実績について
第 I 四半期(R4 年 4 月～6 月)の仕入高・仕入実績は、回答頂いた 22 件の事業者が
増加と回答し、そのうち多くの事業者が 20%以上の増加と回答している。



3 前年同期に比べて第 I 四半期 (R4 年 4 月～6 月) の利益状況について

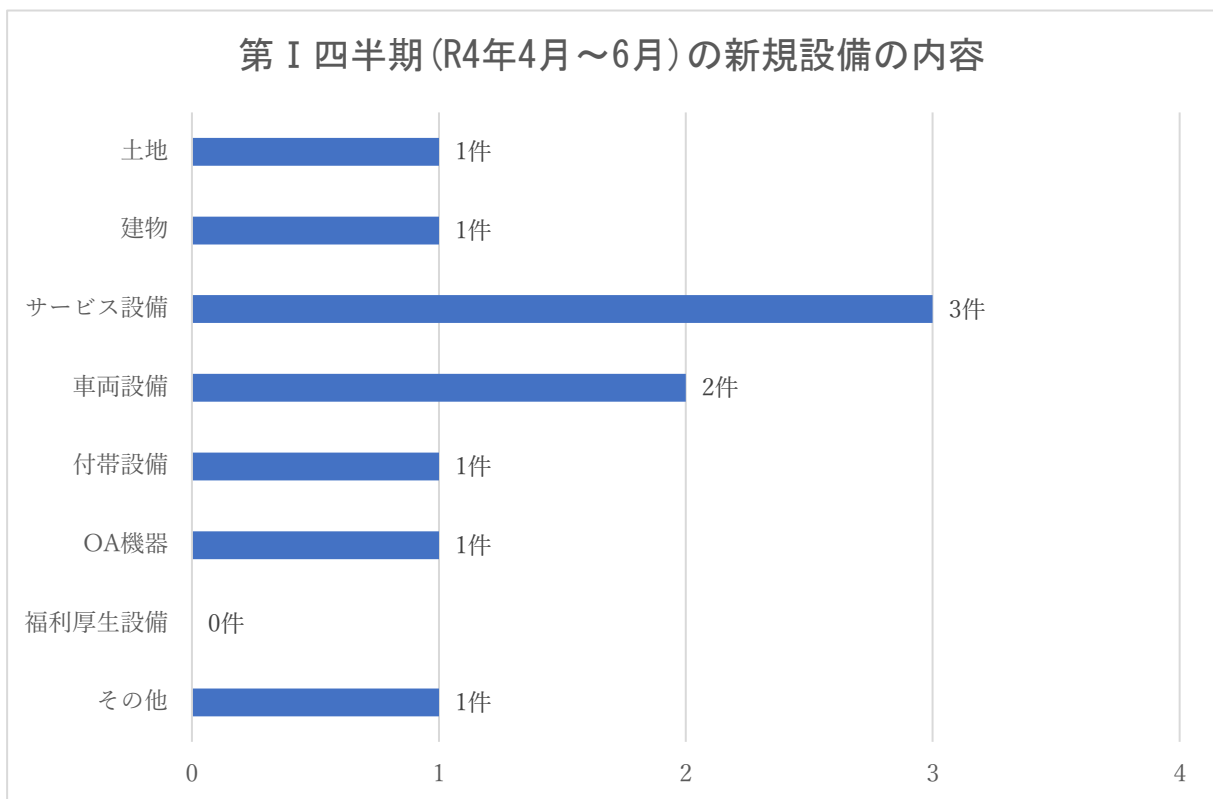
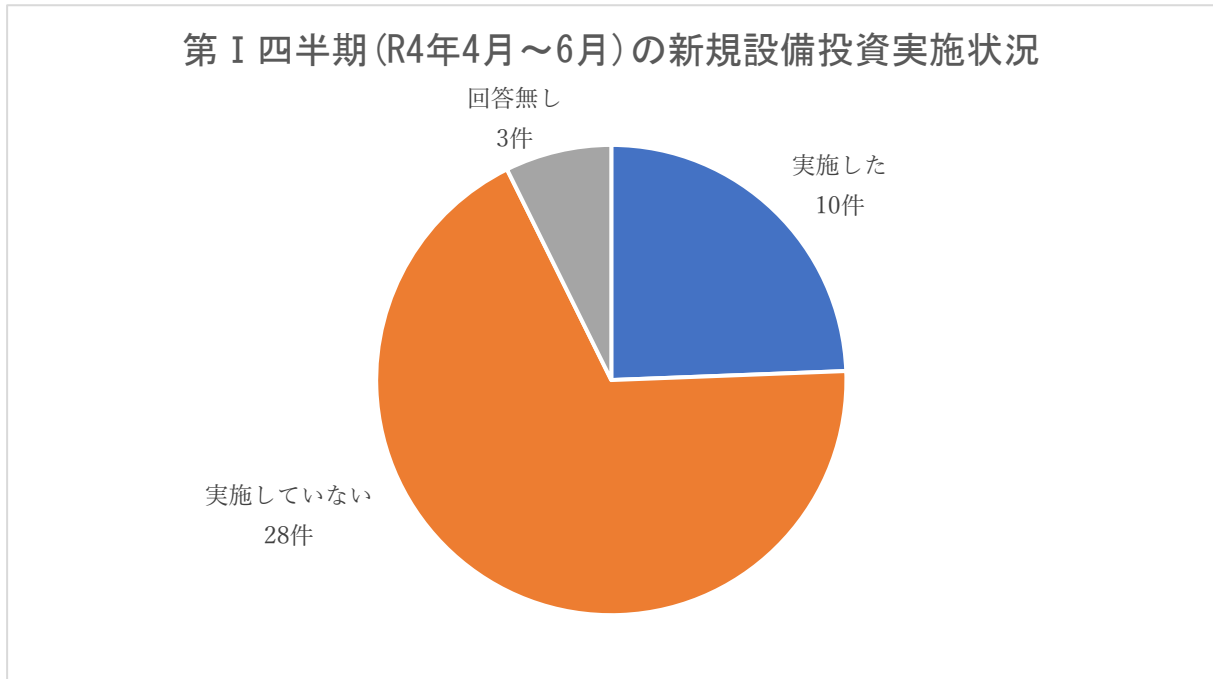
第 I 四半期 (R4 年 4 月～6 月) の利益状況は、回答頂いただいた 11 件が増加、13 件の事業者が減少と回答し、全体的には 20%以上の減少と回答した事業者が多い結果となった。



4 第 I 四半期(R4年4月～6月)の新規設備投資について

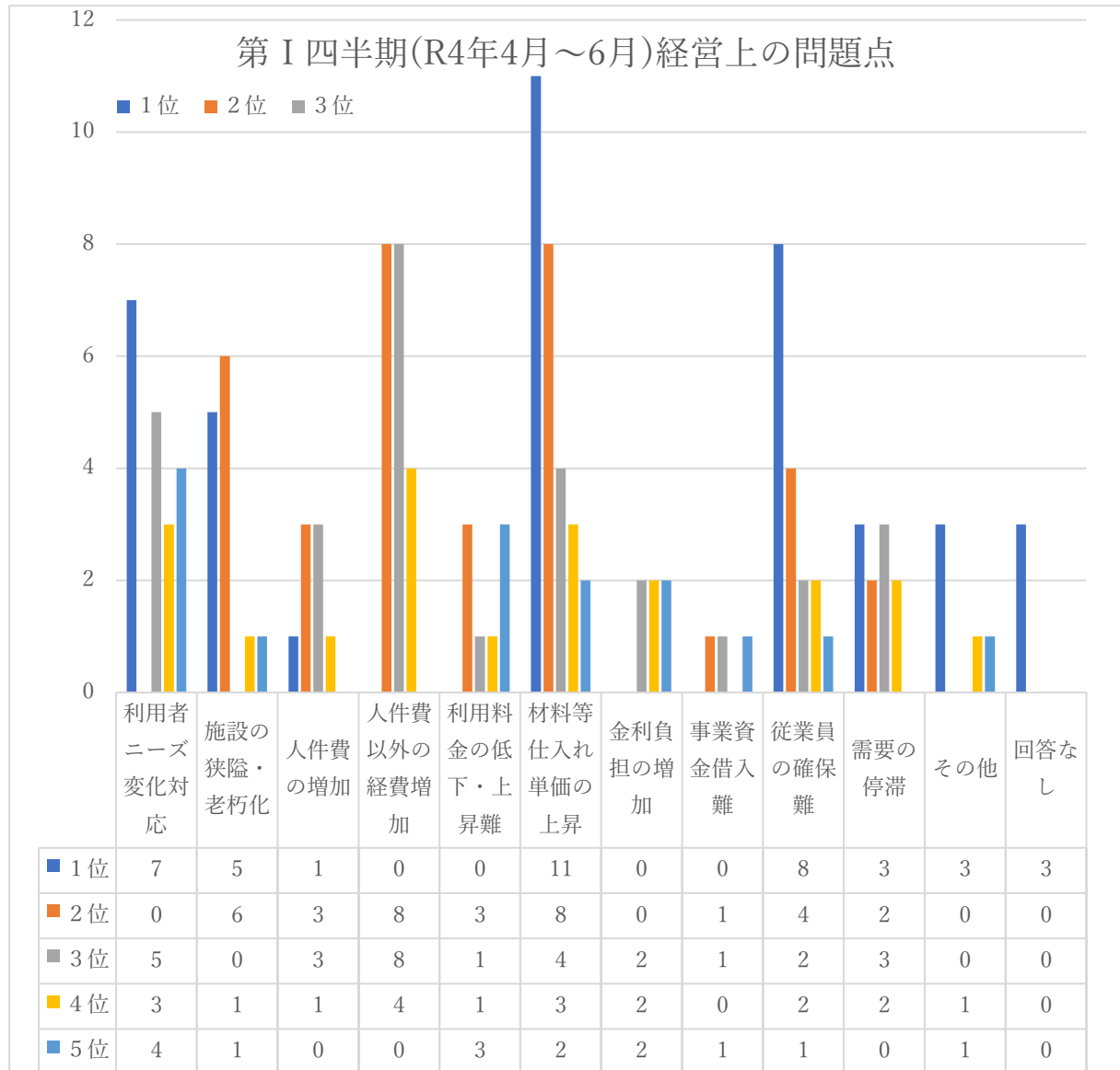
第 I 四半期(R4年4月～6月)の新規設備投資実施状況として、10件が実施しているが、大半は実施していないと回答を頂いた。

投資した内容としては、サービス設備をはじめ、多岐にわたり投資している状況が見える。



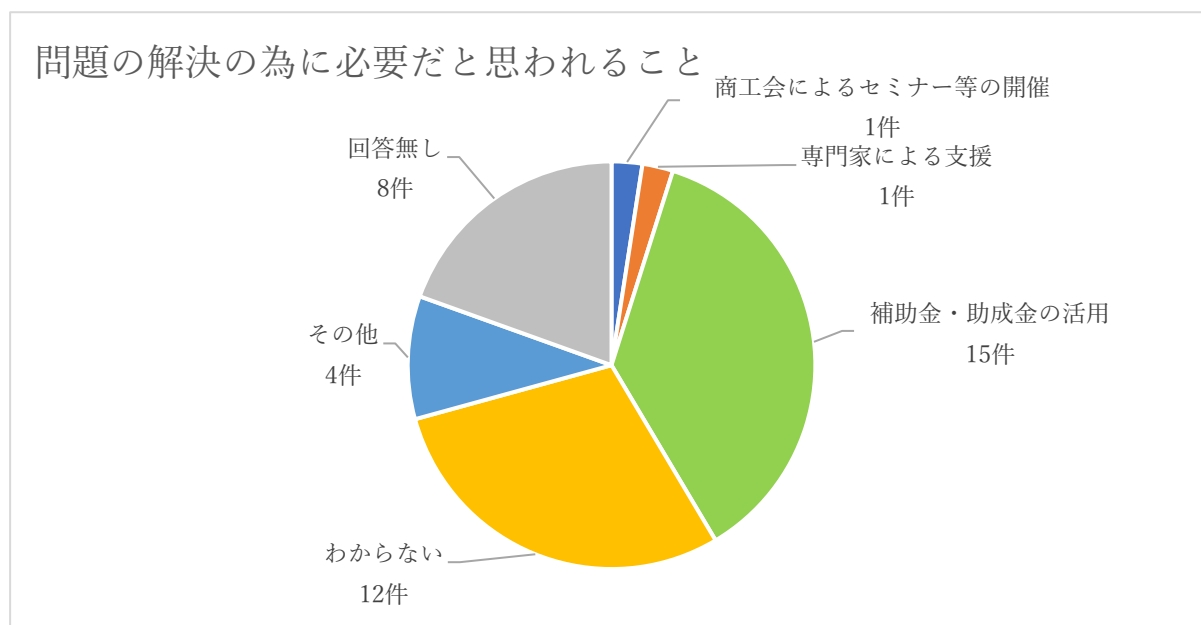
5 第 I 四半期(R4年4月～6月)直面している経営上の問題点

第 I 四半期(R4年4月～6月)に直面している経営上の問題点として一番多く回答されたのが『材料等仕入単価の上昇』であり、次いで挙げられたのが、『従業員の確保難』『利用者ニーズの変化対応』であった。



6 1位に選択した問題点の解決の為に、必要なことは何か？

補助金・助成金の活用により問題を解決することを考えている事業者が15件・わからないと答えた事業者が12件あった。



以下【その他】であげられた回答を掲載しております。

	業種	内容
経営上の問題	その他	仕入れ商品の値上げ
	宿泊業	コロナの影響による客の減少
	運輸・サービス業	(求人について解決法) 法的な制約があり、受け入れのハードルが高く、ハローワーク等に出しても申し込みが来ない。
	建設・建築業	ガソリン価格の高騰が経費を圧迫している。政府には本気でこの問題に取り組んでほしい。
	宿泊業	ガソリンが高い
	飲食業宿泊業	世の中の流れなので静かに待つしかないと思う。
	卸売業	(コロナ関係で) 人が動かなくなった
	運輸・サービス業	(求人について解決法) 広告・チラシ
	製造業	(仕入) 3%程度上昇